

監査報告書

令和6年5月10日

社会福祉法人太田福祉記念会

理事長 太田 三知子 様

社会福祉法人太田福祉記念会

監事 神沼亮爾

監事 安田洋子

令和6年5月10日、玉川ホームにおいて、令和5年度理事職務執行に関する監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受けました。必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

さらに当該会計年度の事業報告及び会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度の計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

（1）計算関係書類及び財産目録の監査結果

- ① 必要書類は、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況等全ての重要な点を適正に表示しているものと認めます。
- ② 財務について、新型コロナ感染症の影響が残る中で、特別養護老人ホームはじめ各事業で昨年度に比較して収益が増加している。支出においては物価高の中にあって法人をあげて経費節減に努めた成果が見えるなど、収支ともに良好な財務状況にあると認められるので、維持継続を望みます。また、グリーンライフ小磯は前年度より增收しており、継続を望みます。

（2）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 福島県一質の高い介護サービスを提供するとの目標を掲げ、人材定着のための研修や職場環境の改善に取り組んでいること、さらにヒヤリハットや事故などを会議で評価し、改善策を実践するなど、法人理念の実現に向け適正に運営が行われているものと認めます。今後もハラスメントの防止に向けて職員の意識改善を継続することを望みます。また、感染症の発生状況をみながら、現在中止している「子ども学習支援事業」など地域貢献事業再開の検討や、地域包括支援センターで実施している中高校生への福祉教育の充実を望みます。